

Topic 8 **MBCと防災パートナーシップに関する協定を締結**



11月18日、本市は株式会社南日本放送(MBC)と「防災パートナーシップに関する協定」を締結しました。

今回の協定は本市と株式会社南日本放送がお互いに連携して自然災害による被害を軽減するための防災情報の発信等を行うことを目的とするもので、協定の締結によりMBCアプリを活用して防災情報の発信等ができるようになります。

12月3日には市役所で調印式が行われ、同放送局の有山貴史取締役は「市民の皆さんの生命・財産を守るためにさまざまなツールを使用して、枕崎市と二人三脚で防災に関する取り組みを行っていきたい」と話しました。

Topic 9 **中原重信さんがスポーツ推進委員功労者表彰を受賞**



スポーツ推進員として地域スポーツの推進に功績顕著な者を表彰するスポーツ推進委員功労者表彰を中原重信さんが受賞しました。

中原さんは枕崎市スポーツ推進委員の前身となる枕崎市体育指導員を昭和54年4月から41年間務め、平成26年度からは枕崎市スポーツ推進委員会委員長を務めています。また、枕崎市ソフトボール協会会長及び枕崎市陸上競技会会長も歴任しており、枕崎市体育協会副会長としても各種競技団体の普及・発展を推進しています。

中原さんは「職場などの皆様のご理解・ご協力をいただけてこれまで続けてこれました。皆さんに感謝します」と話しました。

Topic 5 **市内4中学校でなぎなた体験授業を開催**



本市は、鹿児島国体の「なぎなた」の開催地ということで、市全体で大会を盛り上げていくと普及・啓発に取り組んでいます。市内の4中学校では、平成30年度から武道の授業において、体験を通じた普及を目的として「なぎなた」の授業を行っています。今年度も鹿児島県なぎなた連盟の協力をいただき、11月上旬から下旬にかけて、なぎなたの体験授業を行いました。

授業では礼法や構え、足さばき、「面」「すね」の打突の動きなど、なぎなたの基本的な実技を行いました。なぎなたを初めて手にする生徒も多く、はじめはなぎなたの扱いに戸惑う場面も見られましたが、講師の先生の教えを真剣に聞き、楽しみながらも一生懸命取り組んでいました。

Topic 6 **立神小の児童が枕崎の方言について学ぶ**



当日は枕崎市観光案内所の長野幸造さんが講師を務め、パワーポイントを使って児童に枕崎の方言を紹介しました。聞き慣れない枕崎の方言に子どもたちは困惑しながらも、興味深そうに話を聞いていました。

Topic 7 **桜山小学校で認知症キッズサポーター養成講座を開催**



11月20日、桜山小学校の4年生を対象にお年寄りを地域で見守る認知症キッズサポーター養成講座が開催されました。小規模多機能型居宅介護支援事業所愛と小規模多機能型居宅介護支援事業所花渡川の職員が講師を務め、認知症の方の気持ちに寄り添う大切さを学びました。

講座修了後、4年生33名へキッズサポーターの証として認定証とオレンジリングが授与されました。

Topic 3 **11月24日は「いいふしの日」 鹿児島空港で枕崎鯉節をPR**



11月24日、「いいふしの日」の取り組みとして、本市関係者と日本航空が共同で東京と大阪から到着した4便の乗客約700人にかつお節バックや観光パンフレット等を配布し、生産量日本一の枕崎鯉節のPR活動を行いました。

市では、「食のまちづくり」の取り組みの一環として、生産量日本一を誇る枕崎鯉節を活用した新製品開発やPR活動などさまざまな事業を展開し、本市のイメージアップを図ることを目的に、平成24年に毎月24日を「ふしの日」、11月24日を「いいふしの日」として制定しています。

Topic 4 **「かつおポニートチップス」が農林水産大臣賞を受賞**



令和2年度鹿児島県漁業振興大会第54回水産物品評会において、鹿児島水産高校食品工学科の2年生の生徒が出品した「かつおポニートチップス」が農林水産大臣賞を受賞しました。

かつおポニートチップスは、鹿児島水産高校の課題研究の授業で開発されたチップスです。新鮮なかつおを調味料に漬けて味付けし、燻製にした後に薄切りにしたもので、ジャーキーのように噛めば噛むほど旨味が口の中に広がります。かつおポニートチップスは、今後商品化される予定です。



▲かつおポニートチップス

Topic 1 **永田悦子養護教諭に鹿児島県優秀教職員表彰**



立神中学校の永田悦子養護教諭が令和2年度鹿児島県優秀教職員表彰を受賞しました。

この表彰は、学校教育における学習指導や生徒指導、進路指導、体育・保健・給食指導、特別支援教育、部活動指導、学校事務などの各分野において、顕著な実績のある教職員に対して、その功績を表彰するものです。今回の表彰は、永田養護教諭が全校体制による健康教育の推進に努めていることや「がん教育」に関する教職員の資質向上を目的とした研修会の実施や研究公開、講演会などに取り組んだことが認められたものです。

永田養護教諭は「この仕事は一人では成り立たない仕事なので、色々な方に感謝したいです。これを機に子どもたちにもっと寄り添えるようにしていきたいです」と話しました。

Topic 2 **枕崎市茶業協議会がお茶を寄贈**



地元枕崎の子どもたちにお茶に親しんでもらい、お茶の美味しさを味わってもらおうと、枕崎市茶業協議会から市教育委員会にお茶の寄贈がありました。

今回寄贈があったのは煎茶2.5kg、粉茶1kgで、寄贈されたお茶の一部は11月19日に市内小中学校の給食で「竹輪のお茶和え」として提供されました。児童からは「竹輪とお茶の味が合っていて、とても美味しかった」「お茶の味がしっかりしていて美味しかった」といった感想がありました。



▲竹輪のお茶和え